

1 総 括

1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、公設試験研究機関においては研究開発、技術支援の高度化が益々強く要請されている。このため、地域産業の「技術的拠りどころ」としての機能を果たしていくためには、生産・加工システム、地域資源の高度利用、新素材・新材料、バイオ・食品、人間・環境・デザイン及び電子・情報などの研究開発が不可欠であり、これらの研究開発を推進することによって、技術水準の高度化を促進し、地域資源や開発した技術の活用による新製品・新商品の開発を行い、新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・支援業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、JOIS、PATOLISなど技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、センター独自のシステムである全国工業系国公立試験研究機関の研究報告をデータベース化した研究報告サービスシステム「メビウス」、情報配信サービス「KIT-e news」等地域企業への情報提供業務の強化に努めている。また、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。平成10年7月には、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進し、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R&D支援センター」が開所した。

1-2 組織と業務

庶務部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

企画情報部

- (1) 研究開発及び技術支援の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。

デザイン・工芸部

- (1) 工業製品及び工芸品に関するデザインの開発研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 工芸品の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 工業製品及び工芸品に関し、依頼に応じて行うデザイン設計に関すること。

食品工業部

- (1) 食品工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 微生物の育種・開発及び食品工業的利用に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 食品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること。

化学部

- (1) 化学工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 繊維及び染色に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 化学に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

素材開発部

- (1) 窯業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 新素材及び複合材料の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 窯業及び金属に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

機械技術部

- (1) 機械工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械に関し、依頼に応じて行う試験及び検査測定に関すること。

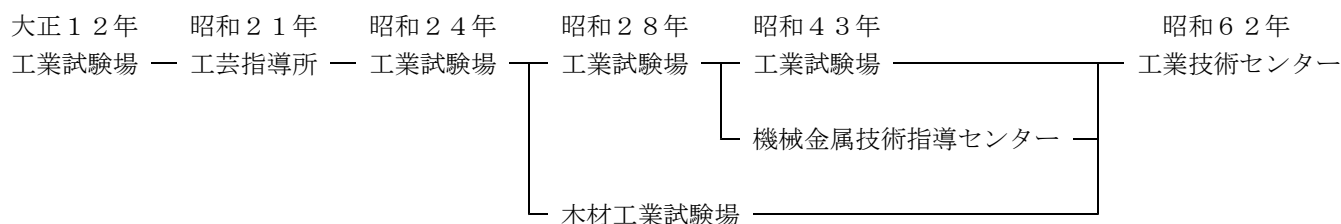
電子部

- (1) 電子技術に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 情報処理技術及び通信技術の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 電子機器に関し、依頼に応じて行う試験及び検査測定に関すること。

木材工業部

- (1) 木材工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 木材に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

1-3 沿革

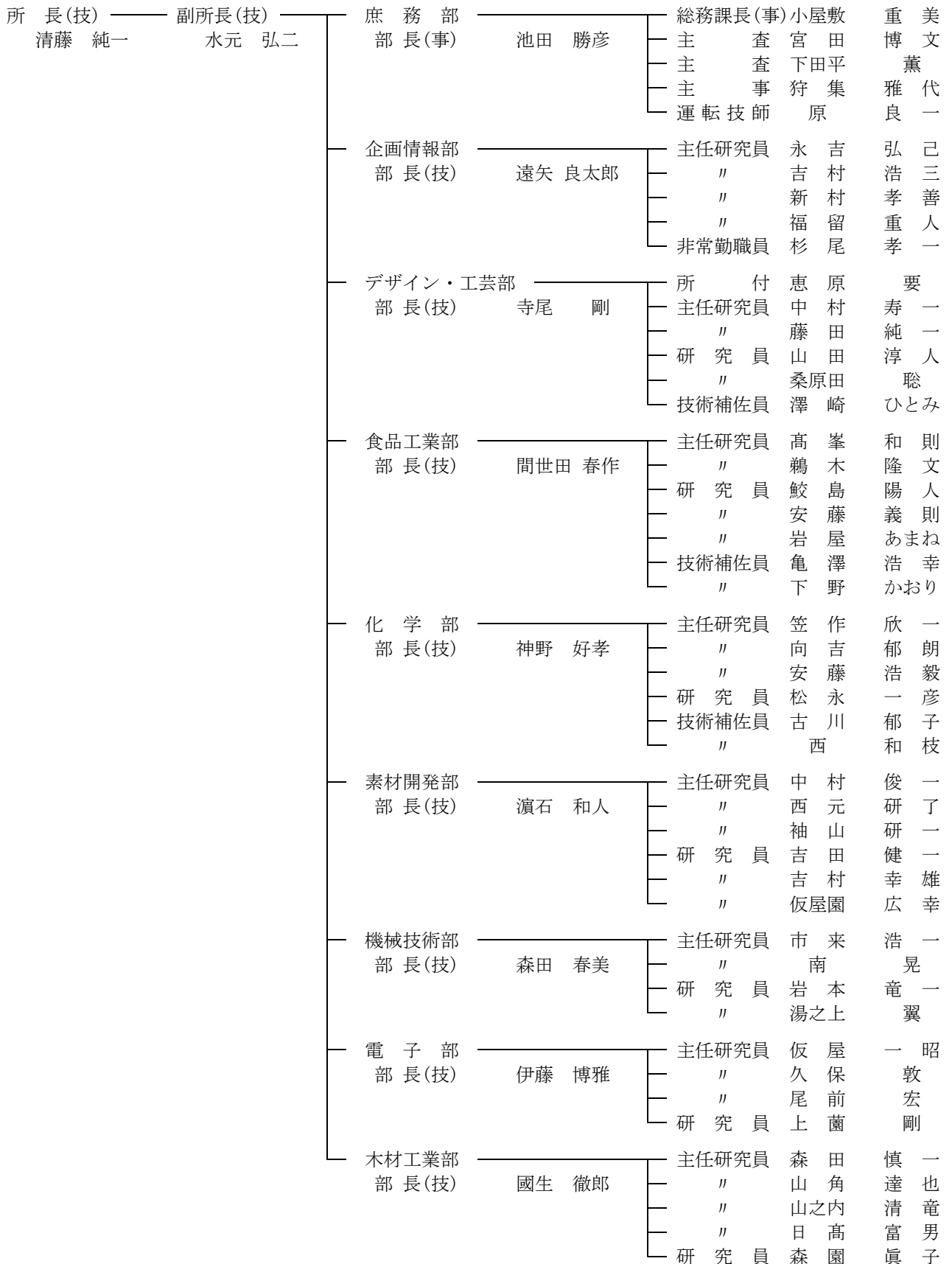


大正12年	4月	鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し、染色、機織の2部を設置
昭和4年	6月	鹿児島市原良町に移転 原料糸検査、醸造、玉糸製糸、撚糸、図案の各部を増設
昭和15年	4月	窯業部を増設
昭和17年	1月	木工、化学部を増設
昭和21年	4月	工業試験場に木工養成所を併設
昭和21年	12月	工芸指導所と改称し、庶務、化学、窯業及び工芸振興の4部に改編
昭和23年	1月	竹工部を増設
昭和24年	4月	工業試験場と改称し、庶務、化学、及び工芸（木工、竹工、窯業）に改編
昭和26年	4月	発酵工業部を新設
昭和27年	4月	工芸部より木竹工部を分離・新設、揖宿市に揖宿分場を設置
昭和28年	4月	木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置
昭和34年	11月	鹿児島市武町に移転
昭和38年	6月	揖宿分場を廃止
昭和39年	4月	工芸部を窯業部に改め、化学部に機械金属班を設置
昭和43年	2月	工業試験場の新庁舎竣工
昭和43年	8月	機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立
昭和48年	3月	鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転
昭和62年	12月	工業試験場、機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し、現住所に工業技術センターを設立、庶務、企画情報(室)、デザイン開発(室)、食品工業、化学、窯業、機械金属、電子、木材工業の2室7部に改編
平成8年	4月	組織改編により庶務、企画情報、デザイン・工芸、食品工業、化学、素材開発、機械技術、電子、木材工業の9部制発足
平成9年	3月	知的所有権センター開所
平成9年	12月	システム技術開発センター開所
平成10年	7月	R&D支援センター開所

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成13年3月31日現在)



1-4-2 職員現況表

(平成13年3月31日現在)

区 分	事 務 職	技 術 職	現 業 職	計	非常勤職員	備 考
庶 務 部	5	2	1	8		所 長・副所長を含む
企 画 情 報 部		5		5	1	
デザイン工芸部		6	1	7		
食 品 工 業 部		6	2	8		
化 学 部		5	2	7		
素 材 開 発 部		7		7		
機 械 技 術 部		5		5		
電 子 部		5		5		
木 材 工 業 部		6		6		
計	5	47	6	58	1	

1-4-3 人事異動

(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

発令年月日	氏 名	旧 任	新 任	備 考
H12. 4. 1	前野 一朗	企画情報部主任研究員	商工観光労働部工業振興課技術主査 (かごしま産業支援センター)	転 出
	瀬戸口眞治	食品工業部主任研究員	農産物加工研究指導センター主任研究員	
	別府 久美	庶務部主査	総務部地方課主査	
	肥後さより	素材開発部研究員	宮之城保健所衛生技師	
	函師 朋弘	木材工業部研究員	林務水産部林業振興課林業技師	
	池田 勝彦	大隅土木事務所次長兼総務課長	庶務部長	転 入
	吉田 健一	環境生活部環境管理課衛生技師	素材開発部研究員	
	鮫島 陽人	農産物加工研究指導センター研究員	食品工業部研究員	
	森園 眞子	伊集院農林事務所林業技師	木材工業部研究員	
	安藤 義則	大島紬技術指導センター研究員	食品工業部研究員	
	湯之上 翼	始良高等技術専門校職業指導技師	機械技術部研究員	
	狩集 雅代	土木部住宅課主事	庶務部主事	所内異動
吉村 浩三	食品工業部主任研究員	企画情報部主任研究員		
新村 孝善	化学部主任研究員	企画情報部主任研究員		
向吉 郁朗	企画情報部主任研究員	化学部主任研究員		
H13. 3. 31	池田 勝彦	庶務部長		退 職

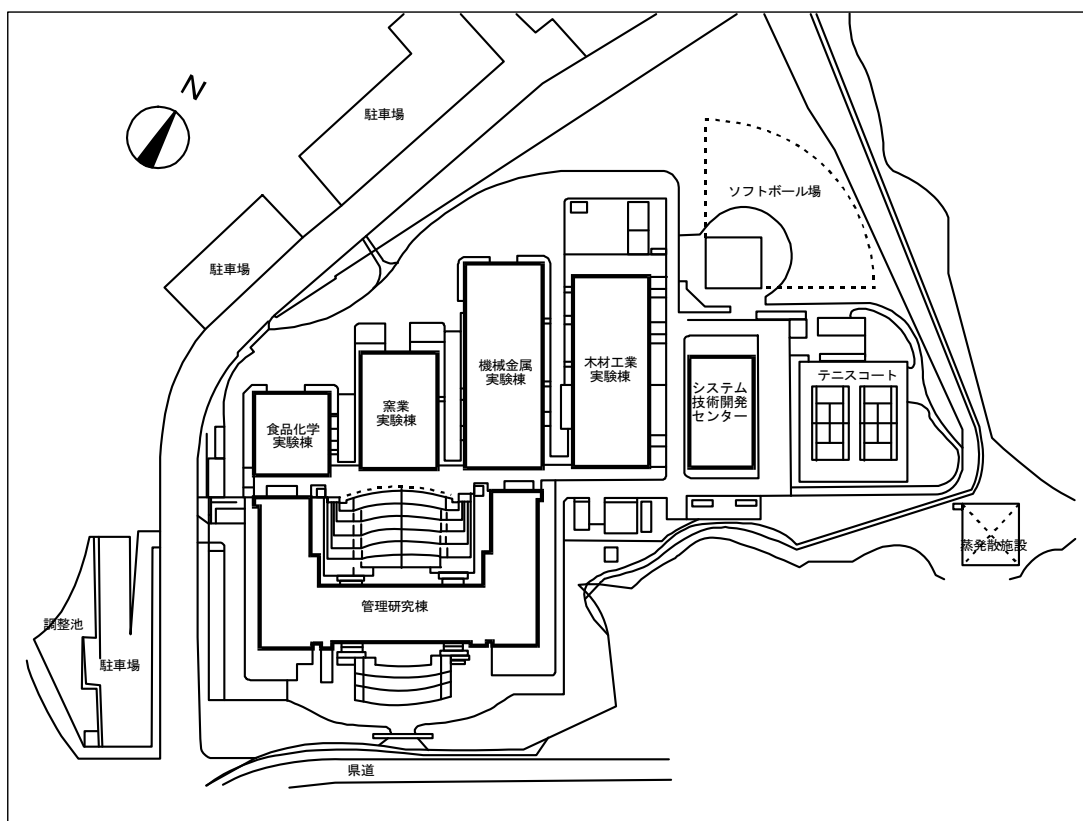
1-5 規 模

1-5-1 土地・建物

土地面積 61,415.82 m²
 建物延べ面積 16,580.17 m²

区 分	面 積 (単位m ²)	内 訳			
		階別	面積(単位m ²)	備 考	
管 理 研 究 棟 鉄筋コンクリート造 地 下 1階 地 上 3階	9,790.29	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他	
		1階	2,884.14	庶務部, 企画情報部, 会議室 研究員室, ショールーム 知的所有権センター 他	
		2階	3,097.77	デザイン・工芸部, 化学部 食品工業部, 素材開発部 電子部, 電子計算機室	
		3階	2,540.82	デザイン・工芸部, 素材開発部 機械技術部, 木材工業部 化学部, R&D支援センター	
		棟屋	356.07	機械室	
実 験 棟 鉄 骨 造 平 屋 建	食品・化学実験棟	656.10	1階	656.10	食品工業部, 化学部
	窯業実験棟	951.35	1階	951.35	デザイン・工芸部, 素材開発部
	機械金属実験棟	1,640.25	1階	1,640.25	機械技術部, 素材開発部
	木材工業実験棟	1,541.84	1階	1,541.84	木材工業部, 素材開発部 デザイン・工芸部
システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1階	1,058.51	1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室
そ の 他 付 属 棟	941.83			941.83	浄化槽機械室, 車庫 他

1-5-2 配 置 図



1-6 決算

1-6-1 歳入

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使用料	商工使用料	1,375,200	
	手数料	商工手数料	5,828,667	
財産収入	財産売払収入	物品売払収入	150,150	
		生産物売払収入	370,500	
諸収入	県預金利子	県預金利子	6	
	受託事業収入	商工受託事業収入	32,654,064	
	雑収入	雑収入	3,236,731	
合 計			43,615,338	

1-6-2 歳出

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
総務費	総務管理費	人事管理費	0	人事課
	企画費	技術情報管理費	62,160	新技術情報課
農林水産業費	農業費	農業振興費	0	流通園芸課
	林業費	林業振興指導費	1,710,953	林業振興課
商工費	工鉱業費	工業振興費	619,822	工業振興課
		中小企業振興費	948,111	工業振興課, 中小企業課
		工業試験場費	467,773,131	工業振興課
教育費	社会教育費	社会教育総務費	165,683	工業振興課
合 計			471,279,860	(人件費を含まず)

1-6-3 補助事業等

補助事業等の区分	補助事業等の名称	事業名	事業費(千円)	補助率	補助額(千円)	交付決定年月日	備考
国庫補助	地域活性化連携促進事業費補助金技術開発研究事業 (中小企業庁)	機械加工部品不良センシング技術に関する研究	6,450	1/2	3,225	12. 6. 29	
受託	転作作物を中心とした高品質品種の育成と省力生産技術の開発 (九州農業試験場)	かんしょを用いた発酵食品の開発	1,619	1/1	1,619	12. 6. 21	
"	産学R&D推進事業 (財団法人九州産業技術センター)	植物資源利用のための水熱反応装置の開発	2,709	1/1	2,709	12. 10. 13	
"	ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業 (中小企業総合事業団)	3次元CAD/CAMを用いた製造業の生産工程高度化のための研修プロジェクト	32,654	1/1	32,654	13. 1. 16	
日自振補助	自転車等機械工業振興事業・公設工業試験研究所設備拡充補助事業 (日本自転車振興会)	工業技術センター機器整備事業	46,221	1/2	23,110	12. 5. 23	
合 計			89,653		63,317		

1-7 会議等への参加（件数）

項目	部名	庶務部	企画情報部	デザイン・工芸部	食品工業部	化学部	素材開発部	機械技術部	電子部	木材工業部	合計
試験研究機関連絡会議		6	2	3	9	7	9	10	4	5	55
学会		0	4	2	4	5	1	5	0	3	24
研究会・講習会		4	13	4	16	15	9	22	10	21	114
その他		38	48	33	28	27	13	11	28	38	264

*庶務部は所長・副所長を含む

1-8 設 備

平成12年度に設備した機器（重要物品）は、以下のとおりである。

部名	機器名	型式	メーカー名	備考
デザイン・工芸部	陶磁器専用透過率計	CM-3600d	ミノルタ(株)	
	雰囲気電気炉	OK-R0-E20	(株)旺計社	
食品工業部	窒素・蛋白質自動分析装置	ケルテックオート2400/2460	Foss Tecator社	
	高速冷却遠心機	H-2000B	(株)コクサン	
化学部	反応装置	—	アジア理化器(株)	受託
	GPCシステム	1100 Series	Agilent社	
	蒸発型光散乱検出器	SEDEX 75	SEDERE社	
	紫外可視分光光度計	UV-2550	(株)島津製作所	
素材開発部	溶媒回収装置	Syncole Polyvap	柴田科学(株)	
	マルチ分級装置	—	(株)西中製作所	
	電気物性測定装置用アンプ	RT6000HVA5	ヤーマン(株)	
機械技術部	三次元表面構造解析顕微鏡	New View 5032	Zygo CORPORATION	日自振補
	高感度切削動力計	9256A1	(株)日本キスラー	日自振補
	熱伝導率測定装置	2022-1-3-a-c-2-2	ANTER CORPORATION	日自振補
	二次元変位センサ	LJ-080	キーエンス(株)	
	3次元CAD/CAMシステム	U-GRAPH	セイコーインスツルメンツ(株)	受託
電子部	高速度カメラシステム	PCI 8000S	ナック	国補
木材工業部	リファイナー	TYM-400-250WS	(株)東洋油圧工業	
	マイクロ波減衰測定器	—	カワサキ機工	

(注) 国補 — 国の補助を受けて購入したもの
日自振補 — 日本自転車振興会の補助を受けて購入したもの
受託 — 中小企業事業団などからの受託事業で購入したもの

